

平成24年 町成人式



誇りを胸に新たな門出



はたちの決意を述べる
永尾亜郁さん



町民憲章を読み上げる
港愛里さん

1月8日、平成24年町成人式が町中央公民館大ホールで開かれました。当日は、晴れ着に身を包んだ新成人166人が参加し、同級生との再会を喜び合いました。

式では、主催者を代表して沼崎喜一町長が「成人おめでとうございます。これからの復興や繁栄を実現させるためには、若い方々の力が必要です。皆さんの限らない可能性を山田の町づくりのエネルギーとして与えてくださいますことを心から願います」とあいさつ。その後、港愛里さん（大浦）が町民憲章を読み上げました。

記念講演では、新成人の中学生時代の恩師2人が、当時の思い出話を交えながら新成人に激励の言葉を贈りました。

式後、町の復興と発展を願い、「ハタチの木」と名付けられたオヤマザクラ1本を植えました。「復興の象徴をつくりたい」と遠藤史哉さん（山田出身）が発案したもので、新成人らは「木と一緒に成長したい」など、それぞれの思いを込めていました。

昆暉雄議長の祝辞に続き、新成人を代表して永尾亜郁さん（境田町）が「震災により失った大切な仲間、大好きだった山田の町並みを忘れずに夢や希望を持ち続け、一人一人がさまざまな場所から復興の担い手となることを誓います」と「はたちの決意」を述べました。



新成人が復興と発展を願い植樹を行いました



スナップ 写真



山田中時代の恩師

嶋 崎 幸 子 先生

今しかできないことに
精一杯取り組んで



豊間根中時代の恩師

長谷川 勝 先生

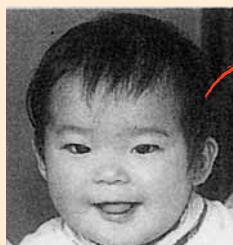
新成人になった皆さんへ
恩師からの
メッセージ
小さな事の積み重ねが
大きな夢へとつながる

記念講演では、新成人の中学校時代の恩師2人が、「二十歳になった皆さんに」と題し、祝福のメッセージやエールなどを送りました。

皆さんは今、中学生の時に思い描いた夢を追っていますか。今日という日に振り返ってみてください。夢や目標を持つことはとても大切なことです。しかし、それに対する気持ちや行動がもっと大切だと思います。小さな事を大切にしてください。小さな事を積み重ねていけば、大きな夢へとつながっていきます。今後の復興を背負っていく皆さんを応援しています。頑張ってください。

皆さんとの中学生生活はとても楽しかったです。皆さんがつくった伝統は今の生徒たちにも受け継がれています。アルバムや思い出の品が無くなってしまうのも、皆さんが行ってきたこと、思い出は消えませんが、今しかできないことに精一杯取り組んでください。そして、皆さんのことを経験し、町の復興を皆さんの手で成し遂げてください。たくましい大人、心の広い大人になることを期待しています。

20歳になりました 新成人にインタビュー



基 野 奈 々さん
(織笠)



大人としての実感はまだありませんが、母のような女性を目指して自分を磨いていこうと思います。生まれ育ったこの町が大好きで、これからも住み続けていきたい。復興に向け皆さんと一緒に頑張っていきます。



会場に掲載当時の広報紙を
掲示しました

本紙の赤ちゃん紹介コーナー「1歳になりました」は、昭和63年にスタートし、これまで4000人の元気な子供たちを掲載してきました。ここでは新成人5人にインタビューを行い、当時の写真と合わせてご紹介します。



阿 部 傑さん
(飯岡出身)



現在は大学で勉強中です。将来は建築関連の仕事に就いて、いずれは町の復興に貢献したいと考えています。学業だけではなく社会生活についても学び、常識のある大人になりたいです。



福 士 夏 実さん
(大沢出身)



無事に振り袖を着て成人式を迎えられ、一つの区切りができてうれしいです。これまで成長を見守ってくれた両親や町の方々に感謝しています。盛岡市で生活していますが、遠くからでも町を支えていきたいです。



佐々木 瞳さん
(船越)



時がたつのは早く、もう二十歳になったんだと感じました。人と会話するのが好きで町内の飲食店に勤めていますが、これからの復興を地域の方々と一緒に盛り上げていきたいと思っています。



寶 伸 哉さん
(川向町出身)



これからは成人したということ意識して生活していきたいです。大学で薬学を学んでいて、将来は医療に携わる仕事に就き人の役に立ちたいと考えています。親への感謝の気持ちを忘れない大人になりたいです。